

支線バスの運行計画と都心の運賃適正化に関する パブリックコメントを実施します

本市では、令和7年～9年にかけてバス路線の再編や支線バスの導入、また、交通事業者による都心部の運賃適正化を予定しています。新設する支線バスの運行計画や、運賃適正化の実施方針について、パブリックコメントを募集します。

1 期間

令和6年12月27日(金)～令和7年1月24日(金)

2 資料

- ① 妹尾・北長瀬線(運行:八晃運輸株)の詳細な運行計画(素案)
- ② その他の路線の運行計画検討状況
- ③ 交通事業者による都心の運賃適正化の実施方針(素案)

3 閲覧場所

- ・岡山市のホームページ(下記 URL 参照)
- ・交通政策課(市役所本庁舎6階)
- ・情報公開室(市役所本庁舎2階)
- ・各区役所総務・地域振興課(北区役所は除く)、各支所総務民生課、各地域センター

4 意見の提出方法及び提出先

計画案に対するご意見と住所、氏名をご記入の上、令和7年1月24日(金)17時15分までに、電子メール、ファクシミリ、郵送又は持参のいずれかの方法により、交通政策課にご提出ください。

・詳細は、岡山市のホームページをご確認ください。

URL : <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000066898.html>



【問い合わせ先】

岡山市 交通政策課 金川・秋永 直通086-803-1376 内線3620・3626

岡山市の公共交通のシンボルマークと支線バスの愛称を WEB投票で選定します

本市では、今後、バス路線を再編し、新たに支線バスを公設民営方式により導入します。わかりやすく、親しみやすいサービスとするため、車両や乗り継ぎ環境等をトータルデザインで整備します。まずは、岡山市の公共交通の「シンボルマーク」と「支線の愛称」をWEB投票で選定します。

1 公共交通トータルデザインの概要

・乗り継ぎ環境や小型車両、バス停サインなどをトータルデザインで整備していくため、

- ① 岡山市の公共交通を表現する「シンボルマーク」
- ② 今後導入していく「支線の愛称」

をWEB投票により選定します。

・選定結果に基づき、支線の小型車両や乗り継ぎ環境(上屋、案内表示等)等のデザイン案を複数作成し、2回目のWEB投票で選定します。 ※令和7年2月ごろの実施予定

2 WEB投票の実施内容

【実施期間】 令和6年12月27日(金)～令和7年1月16日(木)

【投票資格】 だれでも可。1人1票。

【投票方法】 岡山市ホームページの投票専用フォームから(下記URL)

【結果発表】 次回の岡山市公共交通網形成協議会を予定(1月下旬～2月上旬を予定)

【特典】 決定したシンボルマークと支線の愛称に投票した方の中から、それぞれ5名に抽選で「ハレカカード」を贈呈

※2000円分(利用可能額はチャージプレミア含む1530円、残りはデポジット)

※ハレカハーフも選択可

・詳細は、岡山市のホームページをご確認ください。

URL : <https://com.city.okayama.jp/cmsform/enquete.php?id=675>



【問い合わせ先】

岡山市 交通政策課 金川・秋永 直通086-803-1376 内線3620・3626

利便性の高い公共交通の実現に向けた議論

■ 岡山市公共交通網形成協議会の設置

< 課題 >

- 本市の公共交通は、特に路線バスにおいて、H30年時点で市内を運行する路線の約8割が赤字となっており、運行区間は約20年間で25%減少するなど対策は待ったなしの状況
- 人口減少・高齢化が進行する中、このまま公共交通の負のスパイラルが続くと、市民の移動手段の確保がますます困難となり、市民生活の質や都市の持続可能性の低下を招く



< 目的 >

- このような認識のもと、将来にわたって利便性の高い公共交通ネットワークを構築することを目指し、交通事業者等関係者と十分に協議を行いながら、計画策定や各種施策を実施するために本協議会を設置

■ 開催状況等

年度	月	回	主な議事
2018 (H30)	05月	第1回	・ 協議会の設置 、公共交通の現状と課題
	08月	第2回	・ 公共交通の今後の方向性
2019 (R01)	04月	第3回	・ 目標達成に向けて検討する施策
	08月	第4回	・ 目標達成に向けて検討する施策（路線再編ケーススタディ）
	11月	第5回	・ 地域公共交通網形成計画の全体像、施策実現に向けた課題
	03月	第6回	・ 地域公共交通網形成計画（案）
2020 (R02)	10月	第7回	・ 地域公共交通利便増進実施計画の具体施策（3本柱） ①バス路線の再編、②都心の運賃適正化、③高齢者・障害者の運賃割引
	02月	第8回	・ 具体施策（3本柱）に関する今後の方針
↓ ・ 事業者から、「コロナ禍の影響により、現時点で路線再編についての結論を出すことが困難」といった意見があり、検討は当面中断する ・ この間、市と全事業者で利用促進等の取り組みを推進 【R3.10～継続中】3本柱の1つ「③高齢者・障害者の運賃割引(ハレカハーフ)」を実施 【R3.11～R5.12】運賃無料DAY、運賃上限200円キャンペーン実施			
2023 (R05)	06月	第9回	・ 持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた今後の方向性
	11月	第10回	・ 地域公共交通計画（素案）、今後のスケジュール
	02月	第11回	・ 地域公共交通計画（案）、地域公共交通利便増進実施計画（案）
2024年2月 地域公共交通計画 策定 2024年4月 地域公共交通利便増進実施計画・第1弾 認定（国土交通省）			
↓			
2024 (R06)	12月	第12回	・ 3本柱の2つ「バス路線の再編」「都心の運賃適正化」について（支線の運行計画、トータルデザインの検討、運賃適正化の実施方針など）

昨日

バス路線の維持・拡充に向けた新形態

利便増進実施計画
【第1弾】

< 4つのポイント >

1. 需要に応じて幹線と支線に分割

→ 重複路線の集約等により、生み出された余力で
支線を新設・延伸・増便（駅・商業施設・病院へ接続）

2. 支線は小型車両で運行（普通2種免許）

→ 運行経費の削減と運転手不足への対応

3. 支線は公設民営（幹線は民設民営）

→ 小型車両の調達や乗り継ぎ環境の整備等について、市が負担

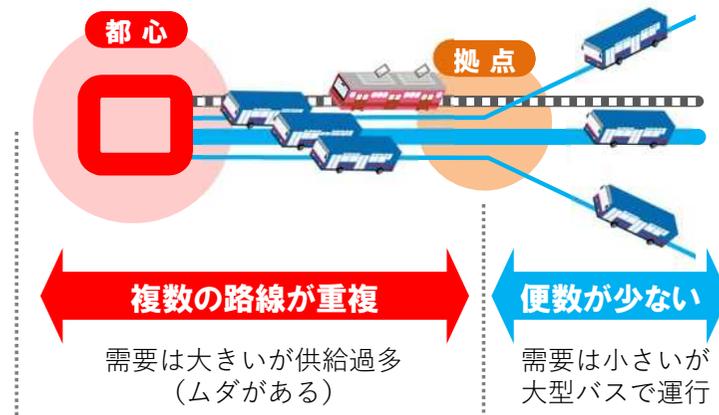
4. 運行支援で支線を安定維持

→ 支線の収支率は30%程度と低いため、
運行経費の最大65%まで市が支援することで、支線を持続可能に

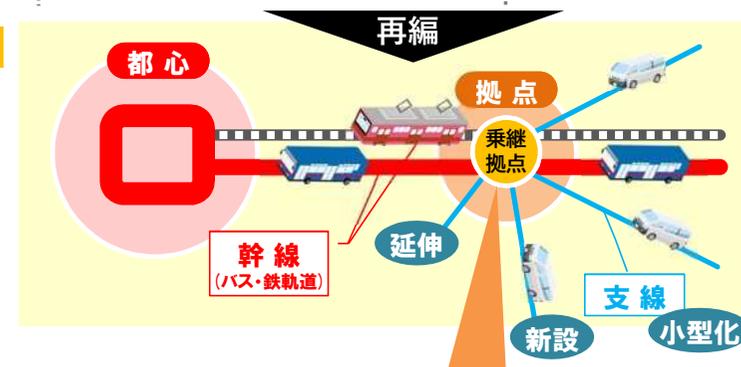
これらの4つのポイントの組み合わせが岡山モデル

10方面・17路線の支線を創設

現状



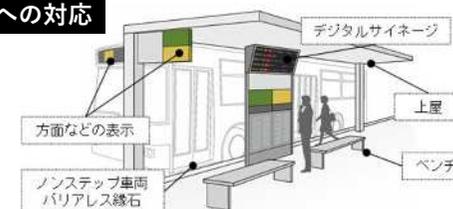
再編後



課題となる「乗り換え」への対応

乗り継ぎ環境の整備

- ・待ち時間少ないダイヤ
- ・座って待てるバス停
- ・接近情報の提供
- ・直通運賃 など



再編後のバスネットワークと運行開始予定

利便増進実施計画
【第1弾】

■ 再編後のバスネットワーク (10方面／支線17路線)

— 支線 (バス) ● 乗り継ぎポイント(幹線バスー支線バス)
— 幹線 (バス) ● 乗り継ぎポイント(鉄軌道ー支線バス)
 幹線 (鉄道)



前倒し

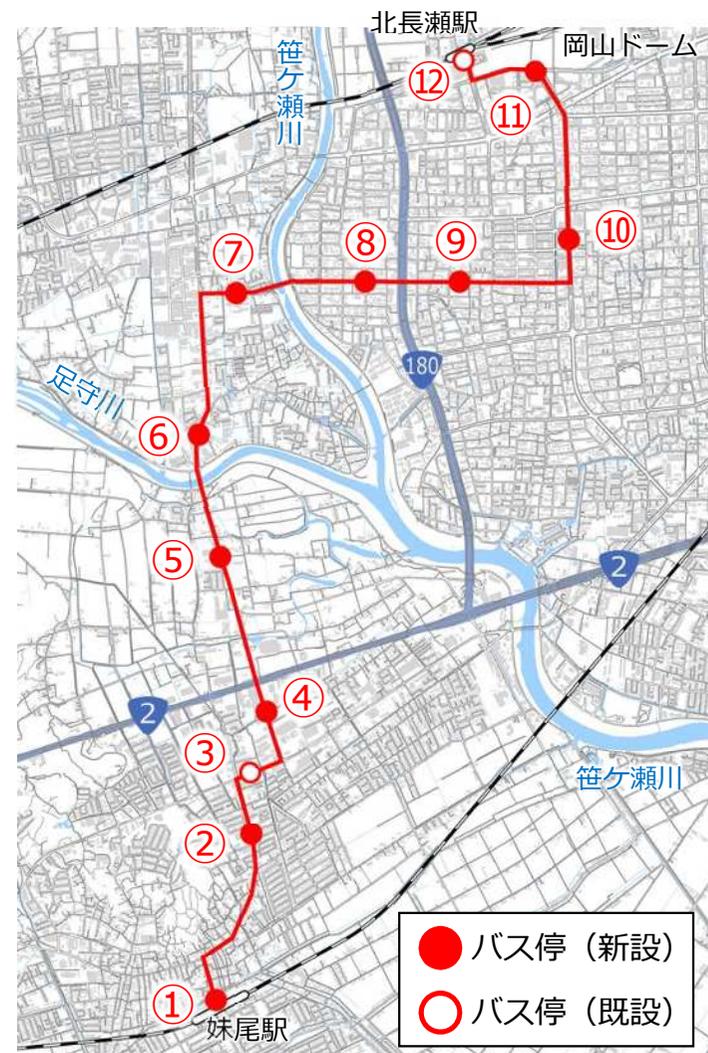
※今後の準備の状況等により実際の運行開始時期は前後する場合があります

支線バスの運行計画と都心の運賃適正化に関するパブリックコメントの実施について

支線バス「妹尾・北長瀬線」の運行計画

R7.4.1から
運行開始予定

項目	計画（素案）		
運行開始	令和7年4月1日（火）		
運行頻度	<妹尾駅発⇒北長瀬駅行き> 平日：20便（始発7:00、終発19:30） 休祝日：20便（始発7:00、終発19:30）		<北長瀬駅発⇒妹尾駅行き> 平日：20便（始発7:00、終発19:30） 休祝日：20便（始発7:00、終発19:30）
乗り場	北長瀬駅：南口2番乗り場 ※1番乗り場は岡山駅方面、2番乗り場は郊外方面 妹尾駅：北口		
運賃	200円均一（ただし、ICカード利用の場合は180円）		
決済方法	①現金 ②ICカード（ハレカカード、ハレカハーフ） ③ペイペイ ④回数券（200円券×11枚綴り：2000円 ※1回あたり180円）		
バス停 (12か所)	①妹尾駅 ②妹尾大寺通り ③荒田 ④古新田南	⑤古新田中・トレンド前 ⑥今保・ナガセヴィータ前 ⑦御南小前 ⑧西バイパス西詰	⑨辰巳西公園前 ⑩問屋町東 ⑪北長瀬ふれあい公園前 ⑫北長瀬駅
車両	ポンチョ（日野自動車） ※八晃運輸が運行するめぐりの車両を活用 ※支線の車両デザイン決定後、ラッピングを検討		



都心の運賃適正化の実施方針（案）

■ 現状の課題

- 各社のバス路線が集中する都心部では、事業者間の競争によって、認可運賃より安価な実施運賃で100円～120円区間が広がっており、各社の経営を圧迫。
- なお、複数事業者が運行する他都市と比べても、非常に安い運賃となっている。

【参考】路線バスの中心部の運賃の政令市比較（地方都市）

岡山	仙台	新潟	浜松	福岡	熊本	静岡	相模原	広島	札幌
120円 ※宇野 100円	120円 ※一部 100円	120円	150円	150円	180円	200円	210円	現金220円 IC 200円	240円

■ これまでの検討経緯

- 「誰もが利用しやすい公共交通サービスの提供」と「公共交通の経営の健全化・安定化」を基本方向とし、21の施策を位置付けた地域公共交通網形成計画※を策定（第1回～第6回協議会）
※R6.2に策定した地域公共交通計画の前身
- その後、下記の施策を3本柱として、重点的に協議会で議論
 - ①バス路線の再編  **R6.4に実施計画・第1弾を策定し、R7～R9に順次実施**
 - ②都心の運賃適正化  **賛同事業者での実施について路線バス分科会で合意**
 - ③高齢者・障害者の運賃割引  **R3.10からハレカハーフによる運賃半額割引を実施中**

【参考】岡山駅からの運賃



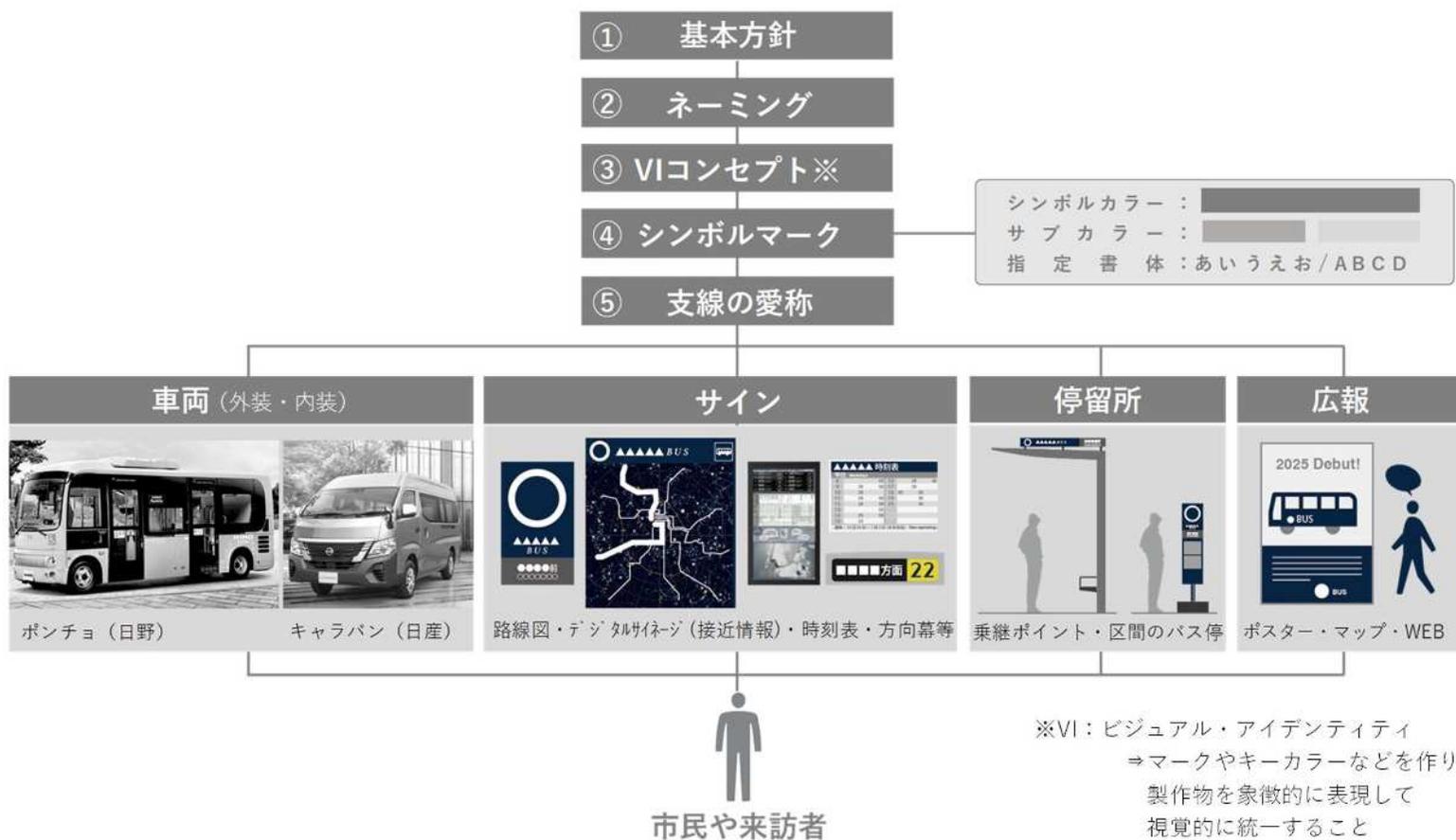
■ 実施方針（案）

- 賛同事業者の現在の実施運賃（120円～150円）から認可運賃の水準（最も低い事業者は160円）に変更
※現時点で、賛同事業者は、中鉄・両備・備北・岡電・下電・八晃
※路面電車（現在：120円・140円）もあわせて変更
※実施する場合は、賛同事業者で共同経営計画を策定

試算によると、今回の運賃適正化によって、赤字の解消には至らないため、**利用者利便を踏まえた運賃体系のあるべき姿について、引き続き、議論を行う**

公共交通トータルデザインの概要

- 利用者が目にする「モノ、情報、環境」を同じコンセプトで統一
- 機能性や快適性を総合的に検討し、サービス価値そのものを向上させる



① 基本方針

次の公共交通のスタンダードへ 「SHIFT（シフト）」

- ・ 小型車両活用など、人口減 / 運転手不足時代の公共交通のスタンダードをつくる。
- ・ 路線再編後の新たな交通体系の機能的・普遍的デザインを探る。
- ・ 分かりやすい幹線 - 乗り継ぎポイント - 支線システムをつくる。

② ネーミング

これから創る新しい交通体系を包括するワードとして「SHIFT（シフト）」を選定

(新たな公共交通ネットワークに"SHIFT"、クルマから公共交通利用に"SHIFT"、競争から協調に"SHIFT"・・・)

SHIFT (場所・方向・状況などを) 変える、動かす、移行する

S-line **S**peed 特急バス (渋川特急、空港リムジン)

H-line **H**eart 都心バス、路面電車

I-line **I**nter-area 鉄道、幹線バス

F-line **F**eeder 支線バス

T-line **T**own 生活交通 (御津建部、足守、デマンド)

路線の「見える化」に活用

例) 頭文字 + 番号で系統番号を整え(S001、H021など)、停留所や車両 (車体、方向幕等)、路線図などで表記

③ VIコンセプト（ビジュアル・アイデンティティ）

萌しの日差し（きざしのひざし）

萌し（きざし）

「きざし」の本来の意味は、芽生え・萌え出ること、
何かが始まりそうな様子や物事が起こりそうな気配

・ **新しさ**を感じさせるビジュアルデザイン

・ 複雑な情報を識別するための

光のように**明快**なビジュアルデザイン

・ アイテムを彩る「晴れの国・岡山」の日差しをイメージした**グラデーション**模様



④ シンボルマーク ※WEB投票で選定

VIコンセプトに基づき 3案を作成

①



- 『シフトリング』
- 1つにつながる新交通システムの様子をリングで表現。

②



- 『シフトレインボー』
- 切れ目がなく接続する交通手段を虹のスペクトルで表現。

③

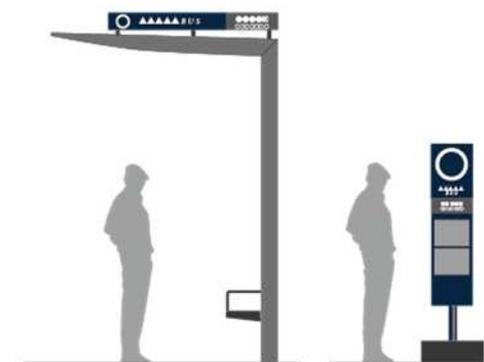


- 『シフトスパイラル』
- 循環やサービスの向上を上昇するスパイラルで表現。

<車両（幹線、支線）>



<バス停サイン>



<広報>

ポスター、マップ、
WEBサイト等



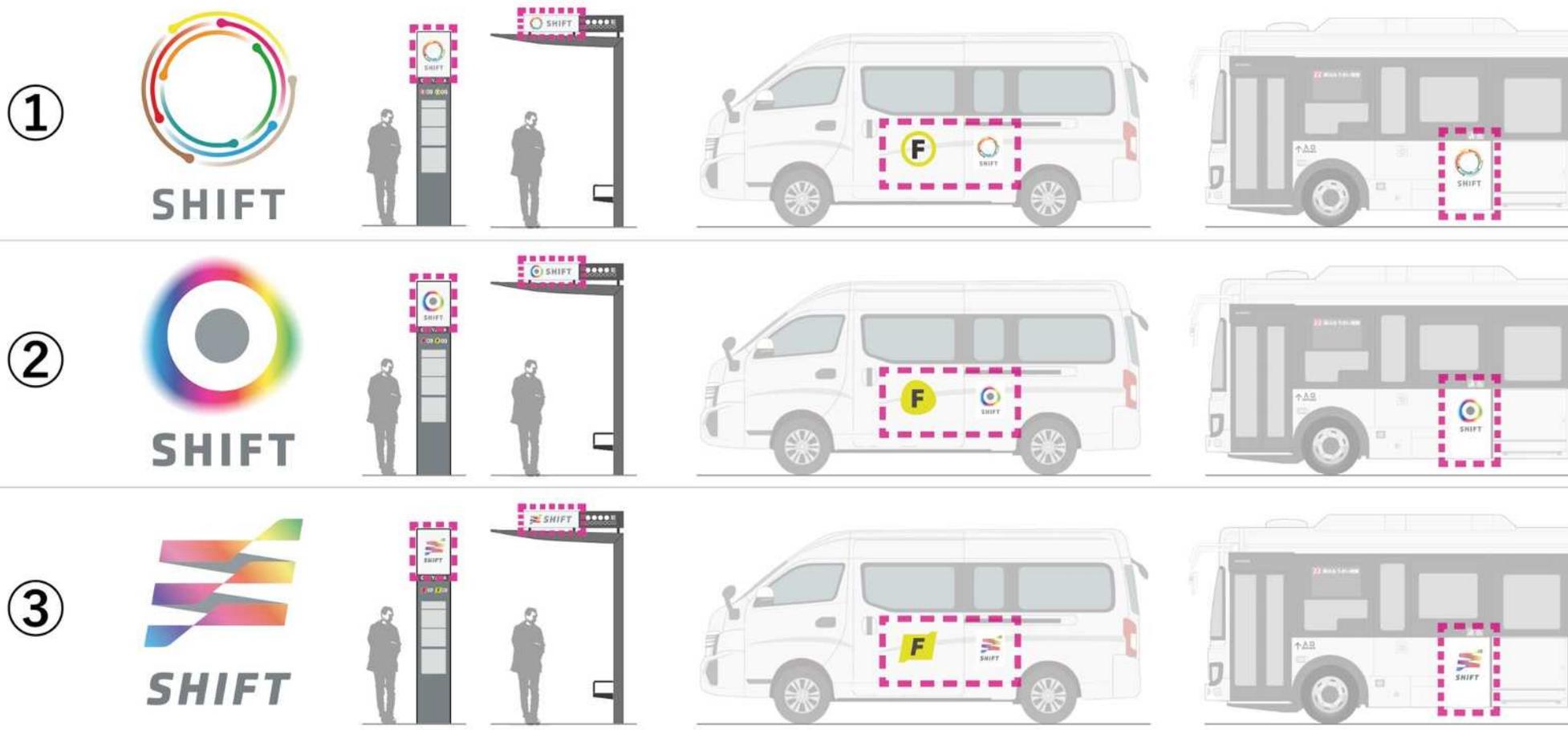
【参考】シンボルマークの展開イメージ

※バス停サイン、支線車両のデザインは、展開レイアウトも合わせて現在検討中。

バス停サイン

支線車両

幹線車両



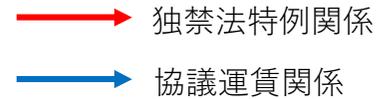
⑤ 支線バスの愛称 ※WEB投票で選定

支線バスはSHIFTの「F」⇒ Fから始まる愛称を検討

- | | | |
|-----------------|------|---|
| ① FEEDA | フィーダ | • Feeder（支線）をダイレクトに表現 |
| ② FLA+ | フラット | • 気軽に「 <u>ふらっと</u> 」おでかけできる支線バスを表現
• 「T」を「+」表記で「つながる」イメージを表現 |
| ③ F-BUS | エフバス | • Feeder（支線）の頭文字を使ってシンプルに表現 |
| ④ FOOP | フープ | • Hoop（輪）の頭文字を「F」に変え、
地域内や地域間を循環する支線バスを表現 |
| ⑤ FLE! | フレ | • 日々の暮らしを「フレッ！と応援する」支線バスを表現 |
| ⑥ FOOCAL | フツカル | • 小型車両で「 <u>フットワーク</u> の <u>かるい</u> 」支線バスを表現 |

※わかりやすさ、覚えやすさ、呼びやすさ、商標権侵害のおそれがないかどうか等を踏まえて候補を選定

今回の運賃改定・新設の手続



都心の運賃適正化 (IC・現金160円)

・岡電・両備・下電
・中鉄・備北
(認可運賃160~170円)

八晃
(認可運賃120円)

妹尾・北長瀬線の新設 (IC180円、現金200円)

八晃
(新規)

共同経営計画の作成
(岡電・両備・下電・中鉄・備北・八晃)

岡山市公共交通網形成協議会
意見聴取

協議会の意見を添付した上で
共同経営計画協定締結認可申請

国土交通大臣
共同経営計画協定締結の認可
(岡電・両備・下電・中鉄・備北・八晃)

公正取引
委員会

・岡電・両備・下電
・中鉄・備北 (160円)

運賃協議会
〔岡山市公共交通網形成協議会〕
運賃協議分科会

住民等の意見反映
(パブリックコメントの実施)

協議
・市 ・運輸局 ・八晃 ・住民代表

・八晃 (160円)

・八晃 (IC180円、現金200円)

運輸局へ運賃の届出

都心の運賃適正化実施

妹尾・北長瀬線実施